

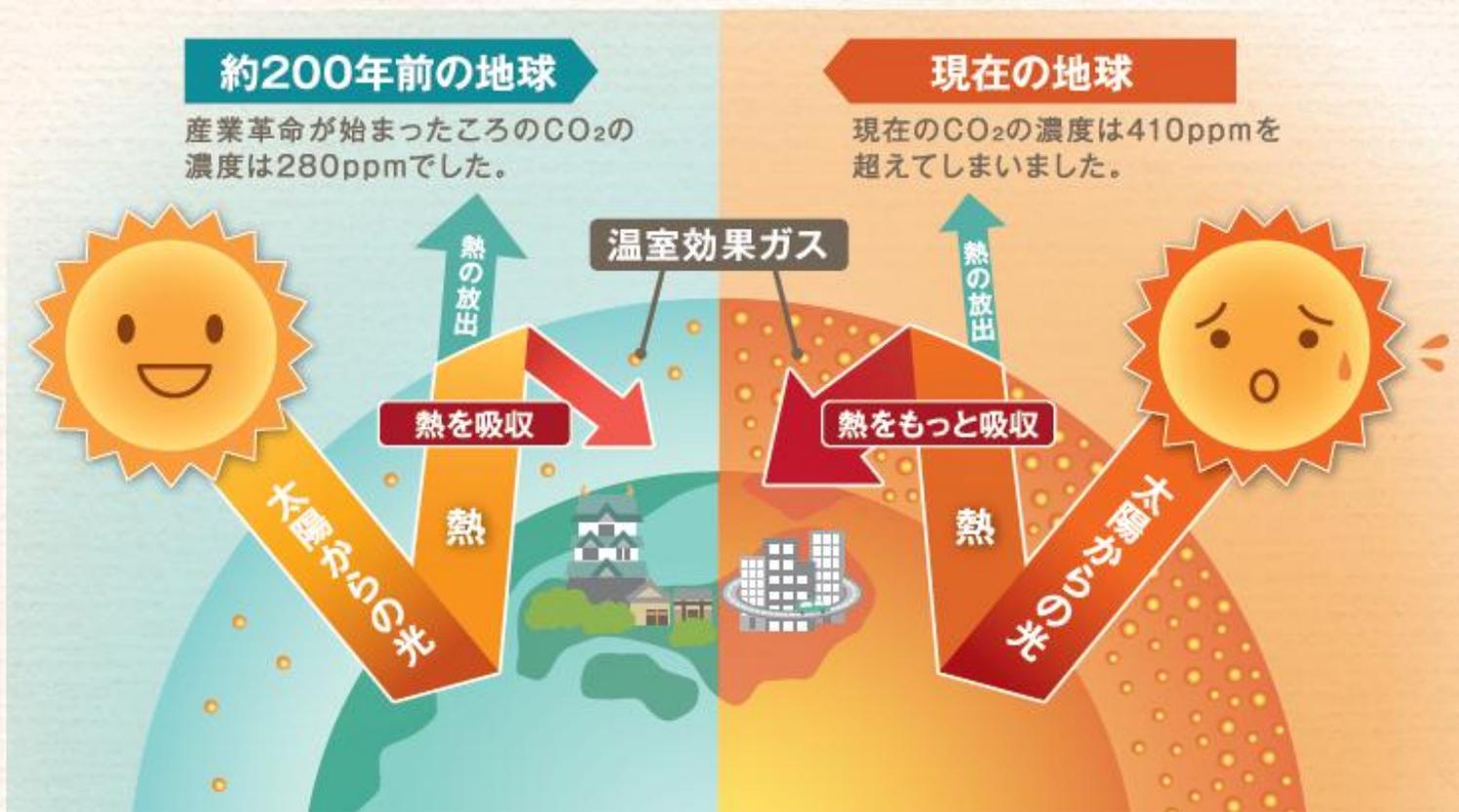


# 地球温暖化ってなに？



## 地球温暖化のメカニズム

地球を包んでいる大気には、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの「温室効果ガス」が含まれ、地球に届いた太陽の熱の一部を逃がさないようにしています。そのおかげで、地球の平均気温は人間や動物、植物が暮らしやすい14℃前後に保たれています。しかし、私たち人間が便利な生活を求め、たくさんのエネルギーを使用するため、石油や石炭などの化石燃料が大量に燃やされ、大気中の温室効果ガスが増加し、地球の平均気温が上がり続けています。



温室効果ガスのうち、日本ではCO<sub>2</sub>の排出量が9割を占めています!  
だからCO<sub>2</sub>削減が大切なのです!!

このまま温暖化が進むと未来の地球はどのようなのでしょうか？

もし今後も化石燃料に依存し、何の気候対策もとらないと、2100年の世界の平均気温は、産業革命前（1850年～1900年頃）と比べてどのくらい上昇するのでしょうか？

**A** 最大2.0℃上昇

**B** 最大3.5℃上昇

**C** 最大5.7℃上昇

答えは次ページ

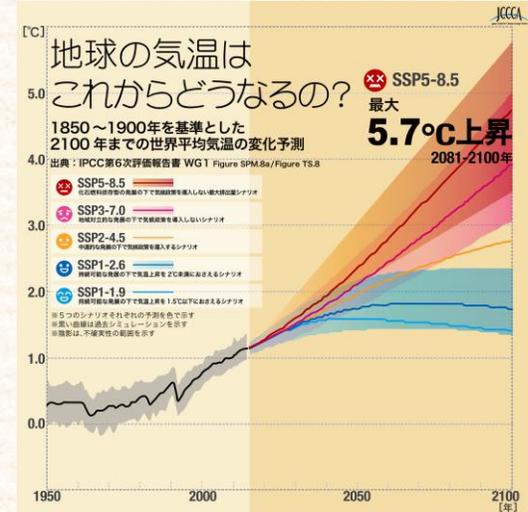
答え

# C 最大5.7℃上昇

温室効果ガスの排出量が「非常に高い」シナリオ（SSP5-8.5）においては、世界の平均気温は産業革命前と比較して、**2100年には最大5.7℃上昇するとされています!!**

## 地球温暖化が進み続けると世界はどうなる？

世界の平均気温が2℃上昇すると、10年に1度の極端な高温は5.6倍、大雨は1.7倍発生する可能性が高くなると予測されています。

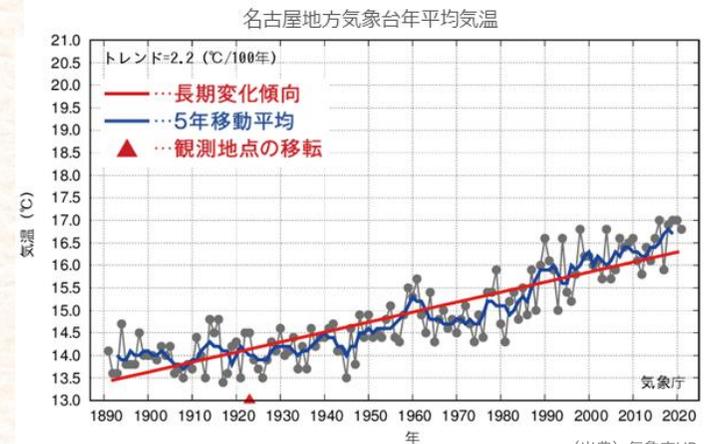


(出典) IPCC第6次評価報告書 / 全国地球温暖化防止活動推進センターHP

## 愛知県の地球温暖化の現状

名古屋地方気象台（名古屋市）で観測された年平均気温は、100年当たりで2.2℃上昇しています。身近な変化では、名古屋地方気象台の桜（ソメイヨシノ）の開花日が50年で約8日早まりました。

また、愛知県の21世紀末の年平均気温は、20世紀末（1980年～1999年）と比べて約4℃上昇すると予測されています。



(出典) 気象庁HP

# 地球温暖化がもたらす様々な影響

## ●自然環境の変化

海面上昇（熱膨張・氷塊の融解）



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターHP

## ●異常気象

台風の強大化



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターHP

豪雨・洪水



写真提供) 国土交通省 中国地方整備局

猛暑



写真提供) PIXTA

## ●生態系の変化

サンゴの白化



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターHP

蚊の生息地域の拡大



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターHP

一部の種の絶滅危機



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターHP



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターHP

## ●食料資源の変化

日本近海でサンマをはじめとする水産物の漁獲量が減少しているほか、リンゴなどの果物で日焼けや着色不良などの品質劣化の多発が報告されています。



写真提供) iStock



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターHP

地球温暖化防止に向けた愛知県の目標をご存じですか？

愛知県が掲げる温室効果ガス排出量の削減目標(2013年度比)は？

- A** 2030年度までに約3割
- B** 2030年度までに約5割
- C** 2030年度までに約8割

答えは次ページ

答え

## B 2030年までに約5割

愛知県では、2030年度の温室効果ガス総排出量を2013年度比で約5割(46%)削減することを目標として掲げています。

この目標を達成するためには、企業や行政だけでなく、家庭における取組を含め、**私たち県民一人一人の責任の自覚と行動の実践が必要不可欠です。**

### 愛知県の温室効果ガス排出削減目標

(単位：千 t-CO <sub>2</sub> )		2013 年度 排出量	2030 年度	
			排出量	2013 比
エネ 起源 CO <sub>2</sub>	産業部門	40,153	26,246	▲34.6%
	業務部門	12,072	3,721	▲69.2%
	家庭部門	8,584	1,922	▲77.6%
	運輸部門	13,327	7,171	▲46.2%
	エネ転換部門	2,435	1,885	▲22.6%
非エネ起源 CO <sub>2</sub>		2,225	1,764	▲20.7%
その他ガス		3,588	2,105	▲41.3%
吸収源		—	▲330	—
合 計		82,384	44,483	▲46.0%

毎日の生活でどれだけCO<sub>2</sub>をだしているのでしょうか？

家庭で使用するエネルギーのうち、家庭からのCO<sub>2</sub>排出量(全国)の半分近くを占めているのは次のうちどれでしょうか？

A ガソリン

B 電 気

C 灯 油

答えは次ページ

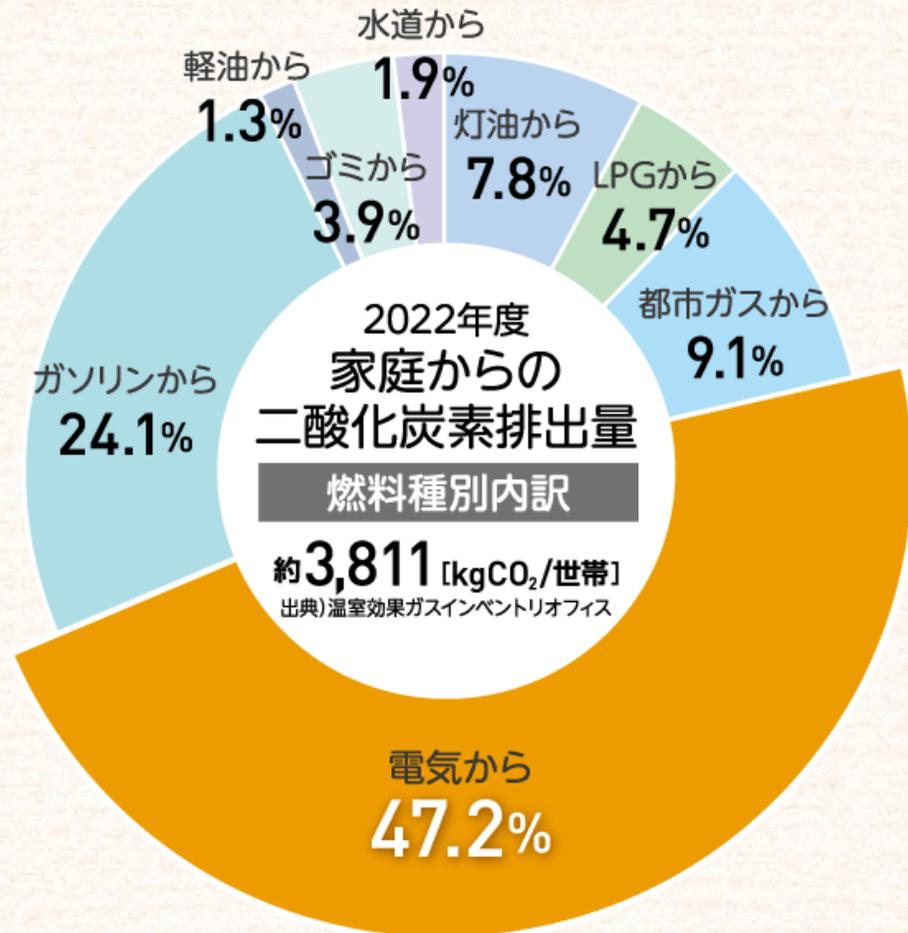
答え

# B 電気

家庭からのCO<sub>2</sub>排出量は1世帯当たり全国平均で年間約3,811kg-CO<sub>2</sub>で、  
その半分近くが電気に起因しています!!

## 家庭からのCO<sub>2</sub>排出量(全国)

出典) 温室効果ガスインベントリオフィス  
「日本の1990-2022年度の温室効果ガス  
排出量データ」(2024.4.12発表)



## 家庭でもできる温暖化対策があります

家庭で使用している電化製品のうち電気使用量が多いのは  
「エアコン」ともう1つは？

**A** 冷 蔵 庫

**B** テ レ ビ

**C** 照 明

答えは次ページ

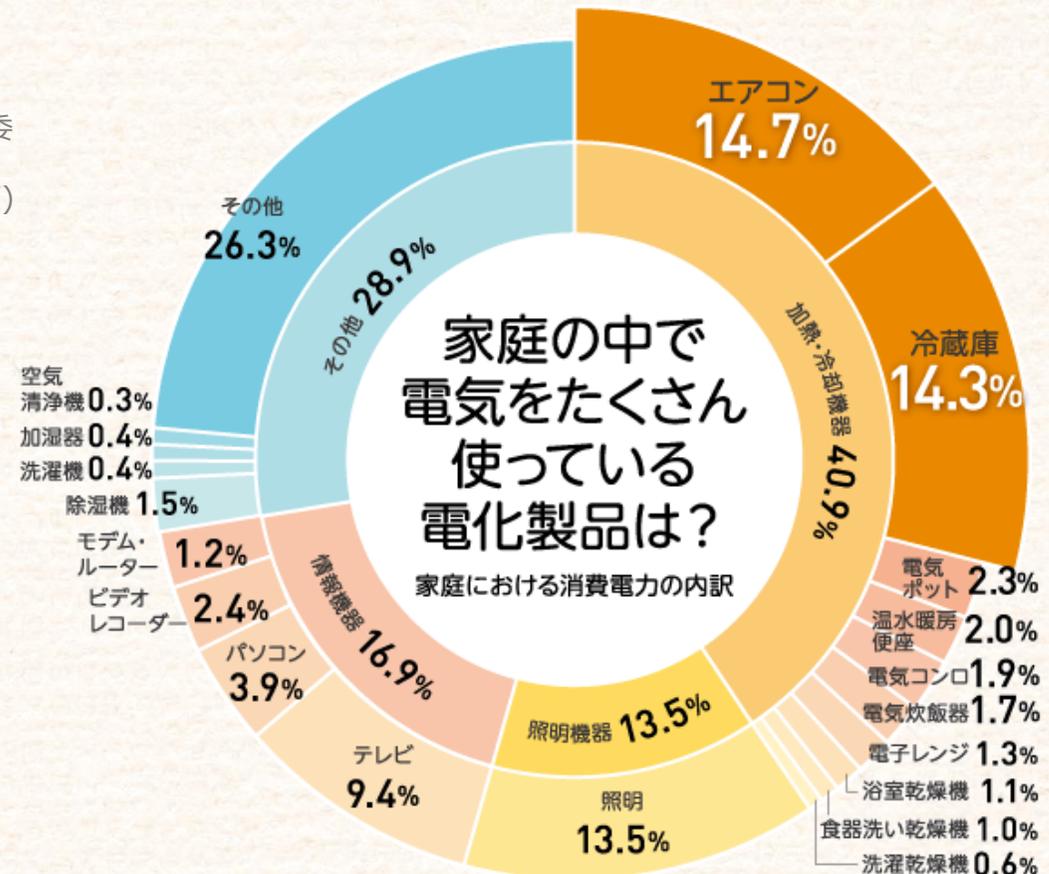
答え

# A 冷蔵庫

家庭で使用している電化製品のうち、**電気使用量が多いのはエアコン・冷蔵庫で、この2つの合計だけで約3割を占めています!!**

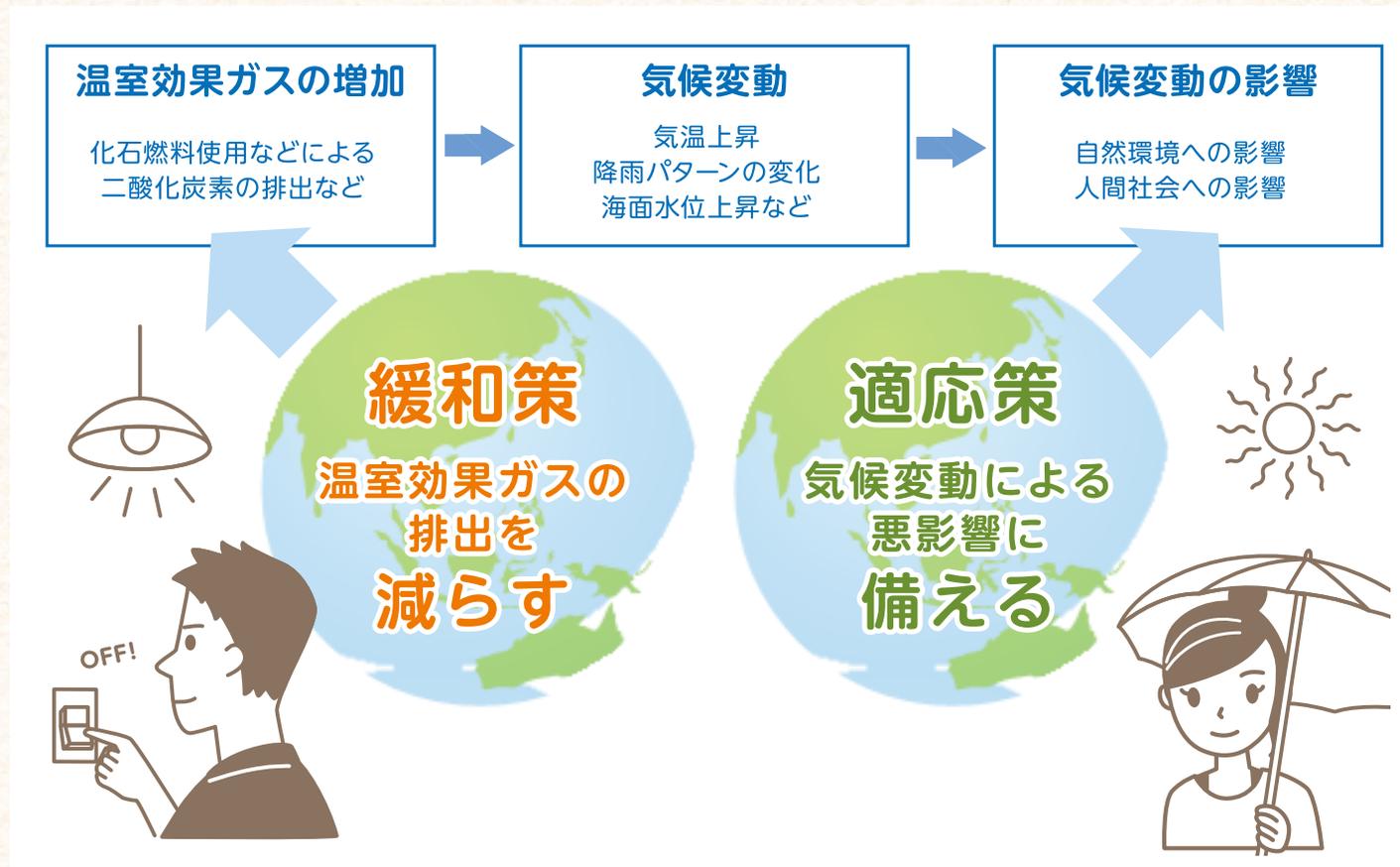
## 家庭で多く使用する電化製品

出典) 令和3年度家庭部門のCO2排出実態調査事業委託業務(令和3年度調査分の実施等)報告書  
世帯当たり年間消費量の機器別構成(2019年度)  
※四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります



# 気候変動と緩和策・適応策の関係

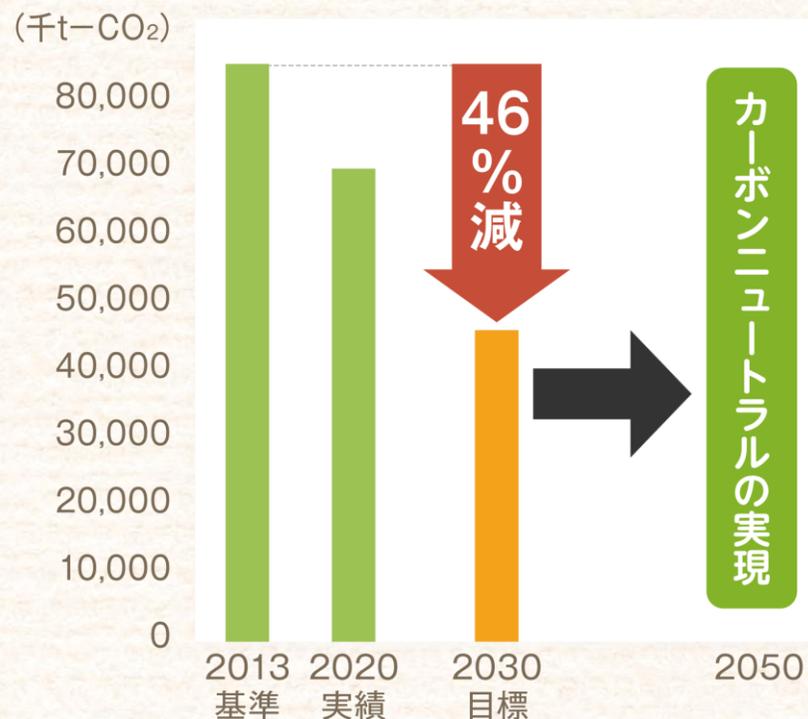
気候変動の対策には、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出量を減らす「**緩和策**」と、すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害を回避・軽減させる「**適応策**」があります。すでに起きている気候変動の影響、さらに将来予測される影響から私たちの生活や身体を守るためには、被害を最小限に抑える適応策も進め、「緩和策」と「適応策」の両輪で取り組んでいくことが重要です。



## あいち地球温暖化防止戦略2030(改定版)の策定

愛知県は、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指し、2030年度までに本県の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標を掲げるとともに、2030年度までの間に取り組むべき施策の方向を示した「あいち地球温暖化防止戦略2030（改定版）～カーボンニュートラルあいちの実現に向けて～」を2022年12月に策定しました。

「徹底した省エネルギー」と「創エネルギーの導入拡大」を加速するとともに、「愛知発の脱炭素イノベーションの推進」や「水素利用のさらなる拡大」等により、目標の実現を目指します。



※カーボンニュートラル…CO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林・森林管理等による「吸収量」を差し引いて、温室効果ガスの排出を全体としてゼロとすること

あなたも無意識のうちに  
"地球温暖化"していませんか？  
ふだんの生活の中で、  
わたしたちにできることから  
取り組んでみましょう！



わたしたちに  
できること  
この画像をクリック

